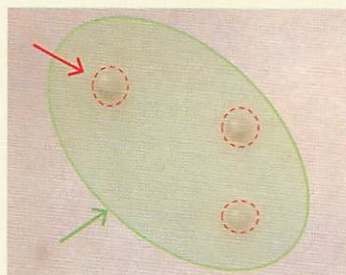


銀配合の液・クリーム・軟膏の 使用方法

通常1日2回、朝と入浴後に以下の様に塗布します。

赤い円で囲んだところが水イボですが、水イボのウイルスは既に周囲に感染している可能性が高いので、水イボの部分だけでなく、**緑の円で囲んだ部分ぐらいいまで広く塗布する**と効果的です。



■治療後の経過に関して

銀を塗布後、最短で2週間、通常2ヶ月前後で塗布した水イボの所だけが赤くなりますが(それ以外の部位は塗ってもなんら変化がありません)、それが効果が出始めたサインです。赤くなってきたらそれから1ヶ月前後で徐々に消えてきます。

この赤くなる状態になるまで(効果が出てくるまで)の時間は、水イボのウイルスに対するその人の免疫反応が大きく関与しますので、個人差があります。

一般的には治療開始後、平均2～3ヶ月程度で水イボが治ると報告されています。

■注意点

* 治る過程で炎症が強い部位は、赤味が強く、**かぶれた様にみえたり**、時には浸出液(汁)が出て**化膿している様に見えたり**する場合があります(銀は感染を予防します)、免疫反応が強く働いているためですので、そのまま使い続けてください。それは治る前の反応ですので、かゆみが強い場合には、かゆみ止めやステロイド軟膏を併用されても問題ありません。

* 銀は紫外線に弱く、直射日光が当たると短時間で効果がなくなってしまうます。直射日光が当たる腕や足など衣服で覆えない部位には、夜のみ塗布してください。

* 銀の特性上、紫外線や空気中の物質と反応し、若干変色する箇所が出る場合がありますが、効果や安全性には原則問題ありませんので、安心してお使いください。直射日光の当たる場所や高温多湿の場所を避け、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

もう痛い治療とはさようなら！

当院では銀の強力な抗菌作用を利用した、全く痛みを伴わない、塗るだけの**水イボの治療**を開始しました。

治療前



治療中(2か月後)



治療後(3か月後)



治療中、中央の写真のように**赤くなってきたら、効果が出てきたサイン。**

治療前



治療後



■銀に関して

銀は抗生剤の10分の1以下の濃度で、ほとんど全ての細菌や真菌、更には一部のウイルスにまで効き、かつ副作用に関してもほとんど問題ない非常に理想的な抗菌作用のある物質と言えます。

治療の詳細は当院医師にご相談ください。